

令和2年6月19日

各位

会社名 クボデラ株式会社  
(コード番号 9261 TOKYO PRO Market)  
代表者名 代表取締役社長 窪寺 伸浩  
問合せ先 取締役管理部長 榎本 稔  
TEL 03-3386-1153  
URL <https://kubodera.co.jp/>

### 特別損失の計上、通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、令和2年4月期におきまして、以下のとおり特別損失を計上するとともに、令和元年6月14日に公表した令和2年4月期通期業績予想及び配当予想を、以下のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

#### 1. 特別損失の内容

##### 貸倒引当金繰入額

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う事業環境の変化を踏まえ、通常の回収期間を超えて未回収となり回収に長期を要する固定化営業債権について、その回収可能性を保守的に見直し、繰入率を引き上げて、貸倒引当金繰入額として12百万円を計上することといたしました。

#### 2. 令和2年4月期通期業績予想の修正(令和元年5月1日～令和2年4月30日)

(単位:百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	1,867	41	20	10	5円05銭
今回修正予想(B)	1,632	27	8	△11	△5円41銭
増減額(B-A)	△234	△13	△12	△22	
増減率(%)	△12.5	△33.6	△60.0	—	
(ご参考)前期実績 (平成31年4月期)	1,520	21	8	2	1円42銭

#### 業績予想の修正の理由

令和2年4月期の業績につきましては、木材事業におきまして、前事業年度からの流れである、

木材小売業者への販売から、ビルダーや建設会社、工務店への販路拡大は継続し、売上高の増大に寄与しました。一方、新型コロナウイルスの影響で、当社の主要輸入先である中国からの木材の入荷が2月、3月に減少し、3月におきましては売上高が前年同期比約15%も減少する結果となりました。また、11月より中国及び台湾への木材輸出を開始いたしましたが、当該国から日本への渡航が困難となったため、検品ができず機会喪失となってしまいました。その結果、売上高は過去最高となるものの、業績予想には届かないこととなりました。

住宅事業におきましては、当社の元々の顧客が高齢化し、住宅等の維持にお金をかけないという現象が、多々生じるようになってきました。地域密着の新規顧客の掘り起こし、また、有力な不動産管理会社とのBtoB取引を開始しておりますが、まだ途上であります。その結果、前事業年度を超える売上高となるものの、業績予想には届かないこととなりました。

当社全体では、売上高は前回予想を下回る見込みとなり、これに伴い営業利益、経常利益ともに前回予想を下回る見込みとなりました。また、上記のとおり特別損失を計上したことに伴い、当期純利益につきましても、前回予想を下回る見込みとなりましたので、通期業績予想を修正いたします。

※上記の業績予想は、本資料の発表現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。

### 3. 配当予想の修正について

	年間配当金		
	中間期末	期 末	合 計
前回予想 (令和元年6月14日)	円 銭 未定	円 銭 未定	円 銭 未定
今回修正予想		0.00	0.00
当期実績	—		
前期実績 (平成31年4月期)	0.00	0.00	0.00

#### 修正の理由

当社は、株主に対する利益還元を経営上の重要政策として認識し、業績の状況、取り巻く環境及び中長期を展望した財務体質を勘案し、継続的かつ安定的に実施することを基本方針としております。期末配当金につきましては、財政状態、経営成績を勘案し、内部留保とのバランスを図りながらその実施を検討するということで未定としておりましたが、通期業績の見通しや財務状況等を慎重に検討した結果、誠に遺憾ながら無配に修正いたします。

以上